

# 福島県立医科大学々報

## 目 次

○ 学 事	-----	
平成26年度前期分医学博士授与者	.....	2
○ 人 事	-----	
新任役員・新任教授・新任准教授・新任講師等	.....	2
新任あいさつ	.....	2
・法医学講座	主任教授 黒田 直人	
・放射線腫瘍学講座	主任教授 鈴木 義行	
・腫瘍内科学講座	主任教授 佐治 重衡	
・放射線災害医療学講座	主任教授 長谷川有史	
・多能性幹細胞研究講座	教授 横内 裕二	
・先端がん免疫治療学講座	教授 河野 浩二	
・医療人育成・支援センター	教授 大谷 晃司	
・放射線医学県民健康管理センター	特命教授 田中 成省	
・先端臨床研究センター	教授 伊藤 浩	
・先端臨床研究センター	特命教授 阿部 敬	
・医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター	教授 高木 基樹	
・会津医療センター精神医学講座	主任教授 川勝 忍	
○ 諸 規 程 改 正	-----	
平成26年4月から平成27年1月までの主な諸規程の制定、改正及び改廃関係	.....	7
○ 役員会・経営審議会・教育研究審議会・医学部教授会・看護学部教授会	-----	
役員会	.....	11
経営審議会	.....	12
教育研究審議会	.....	12
医学部教授会	.....	12
看護学部教授会	.....	12
○ 雑 報	-----	
寄附講座の設置について	.....	12
平成26年度科学研究費助成事業補助金採択状況	.....	14
平成26年度厚生労働科学研究費補助金採択状況	.....	20

## 学 事

### ■ 医学博士授与者

#### 平成26年度前期分医学博士授与者

氏 名	学 位	論 文 名
鈴木 聡	医学博士	携帯電話電磁波のマウス配偶子に対する影響の検討

## 人 事

(平成26年5月1日～平成27年1月31日)

#### ◎新任役員等

発令 H26.5.1	法人（役員）	
	副理事長（県民健康管理担当）	大戸 齊
発令 H26.5.1	法人（役員）	
	理事（復興担当）	竹之下誠一

#### ◎新任教授等

採用 H26.7.1	法医学講座	教授	黒田 直人
採用 H26.7.1	先端臨床研究センター	教授	伊藤 浩
採用 H26.7.1	医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター		
		医科大学教授	高木 基樹
採用 H26.8.1	放射線腫瘍学講座	教授	鈴木 義行
採用 H26.8.1	先端臨床研究センター		
		特命教授	阿部 敬
採用 H26.8.1	（会）精神医学講座	医監	川勝 忍
昇任 H26.8.1	医療人育成・支援センター		
		教授	大谷 晃司
採用 H26.9.1	腫瘍内科学講座	教授	佐治 重衡
採用 H26.10.1	放射線医学県民健康管理センター		
		特命教授	田中 成省
昇任 H26.10.1	放射線災害医療学講座	教授	長谷川有史
採用 H26.11.1	多能性幹細胞研究講座		
		医科大学教授	横内 裕二
採用 H26.11.1	先端がん免疫治療学講座		
		医科大学教授	河野 浩二

#### ◎新任准教授等

昇任 H26.5.1	産科婦人科学講座	准教授	渡邊 尚文
昇任 H26.5.1	小児腫瘍科	准教授	佐野 秀樹
採用 H26.7.1	整形外科科学講座	准教授	大井 直往
採用 H26.8.1	多能性幹細胞研究講座		
		医科大学准教授	中村 泉
採用 H26.10.1	医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター		
		医科大学准教授	星 裕孝
昇任 H26.10.1	免疫学講座	准教授	高橋 実
昇任 H26.10.1	手術部	准教授	小原 伸樹

昇任 H26.11.1	耳鼻咽喉科学講座	准教授	松塚 崇
採用 H26.12.1	医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター		
		医科大学准教授	七宮 英晃
採用 H27.1.1	健康リスクコミュニケーション学講座		
		准教授	村上 道夫

#### ◎新任講師等

昇任 H26.5.1	消化器・リウマチ膠原病内科学講座		
		講師	高木 忠之
採用 H26.6.1	生体物質研究部門	講師	關亦 正幸
昇任 H26.7.1	整形外科科学講座	講師	二階堂琢也
昇任 H26.8.1	泌尿器科学講座	講師	柳田 知彦
採用 H26.10.1	医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター		
		医科大学講師	比嘉亜里砂
昇任 H26.10.1	器官制御外科学講座	講師	八島 玲
昇任 H26.12.1	解剖・組織学講座	講師	植村 武文
昇任 H27.1.1	衛生学・予防医学講座	講師	熊谷 智広

### ■ 新任あいさつ



#### 主任教授就任ご挨拶

法医学講座

主任教授 黒田 直人

平岩幸一教授（現名誉教授）の後任として、平成26年7月1日付けで法医学講座に着任致しました。杉妻町の大病院で生を受け福島高校を卒業するまでを信夫の里で育ちましたが、この度38年ぶりに故郷に戻ることが出来ました。この間お力添えを頂いた福島県立医科大学の諸先生方をはじめとする皆様へ厚く御礼申し上げます。

高校卒業後東京医科大学に進学し、慶應義塾大学、Dundee 大学（Scotland）、埼玉医科大学を経て、平成9年より弘前大学医学部で講座運営を任されておりましたが、今日までの間、医学研究、教育そして法医学の中心的業務である司法解剖のシステムは大きな転換を遂げました。大学における業務はますます多様化し、また社会からの要求に対応できるよう、大学が迅速に行動しなければならぬ場になっていることを実感させられました。

現在、福島県立医科大学附属死因究明センターの運用開始への準備が、着々と進行しております。X線CT撮影装置を中央に据えた死因究明センターは、法医学講座だけで運転して行くことは困難です。そこには大学各科の先生方、大学病院放射線部の皆様方、地域医療機関の先生方、警察関係者の方々のご協力があって初めて威力を発揮できるものと承知致しております。

福島県の社会秩序の維持、ひいては県民の皆様の安全と平和を目指して努力してまいりますので、何卒ご指導の程よろしくお願い申し上げます。



### 主任教授就任ご挨拶

放射線腫瘍学講座

主任教授 鈴木 義行

平成26年8月1日付けで、放射線腫瘍学講座教授を拝命致しました鈴木義行です。本講座は、これまで放射線治療と診断の両方を担ってきた放射線医学講座から放射線治療部門が独立したもので、5名の放射線治療医でスタート致しました。

放射線腫瘍（治療）学は、機器やIT技術の進歩に伴い急速に発展を遂げております。前立腺癌などに対しては強度変調放射線治療（IMRT）が、骨軟部腫瘍には重粒子線治療までもが、今や“標準治療”と考えられるようになりつつあり、まさに日進月歩の様であります。最新の機器を遅れることなく導入し、より良いがん治療と学術情報の発信を行っていきたいと考えております。

一方で、いわゆる“がん病態”を考えず、「放射線治療医は最新の治療機器でピンポイントに大量の放射線を照射するだけで良い」、という考えが放射線治療医の中にも広がりつつあります。放射線治療は、がんの集学的治療の一翼を担っており、“がん病態”をしっかりと理解して診療にあたるよう、基礎やトランスレーショナル研究にも注力し、学生・医師の教育・育成に努めていきたいと考えております。

全国的にも、放射線腫瘍（治療）学と診断学の講座が各々独立している大学がまだまだ数少ない中、放射線腫瘍学講座の新設を決断された福島県・県立医大・県民の皆様方の期待は大変大きいものと理解しております。皆様方から信頼される講座となるよう、精一杯努力して参りますので、御指導・御支援の程、宜しくよろしくお願い申し上げます。



### 主任教授就任ご挨拶

腫瘍内科学講座

主任教授 佐治 重衡

平成26年9月1日、新しく腫瘍内科学講座が新設され、その初代の主任教授を務めさせていただくことになりました。また10月1日より、附属病院臨床腫瘍センター長と放射線医学県民健康管理センターがん登録室長も兼務させていただいております。これまで東京、岐阜、埼玉、京都などでがん診療・研究に携わってまいりましたが、この度ご縁をいただき福島の地に参りました。どうぞよろしく御願ひ申し上げます。

がんの治療は、手術や内視鏡、放射線照射による局所療法と、局所や全身にひろがっているがん細胞や患者さんの症状を様々な薬物を使ってコントロールする薬物療法から成り立っています。腫瘍内科は、この薬物療法を専門とする科です。欧州や米国では一般的な診療科の1つであり、たとえば米国には1万4千人をこえる腫瘍内科医がいますが、日本ではやっと千人になったところですよ。

腫瘍内科医は各臓器がんの治療戦略全体を理解しつつ、がんの薬物療法を専門として診療や研究をおこない、臨床試験やコホート研究などを通じてあらたな治療薬・治療戦略の開発にあたります。しかし、がん薬物療法専門医は福島県内にわずか5名という状況です。これからの専門医育成と、福島県内各地域とのネットワーク作りが重要と考えております。また、各科の若手の先生には当科へ短期間でも研修に来ていただき、自信をもって患者さんの抗がん薬治療にあたる知識と経験を身につけていただければと思っています。

ゼロからの講座立ち上げを開始したところですが、少し長い目とお時間をいただきつつ、ご指導ご鞭撻をいただきますと幸いです。



### 主任教授就任ご挨拶

放射線災害医療学講座

主任教授 長谷川 有史

当講座は「放射線災害」を掲げる本邦初の講座です。世界的にもまれな原子力発電所大事故を経験し、現在も進行中の放射線災害を抱える当学に特徴的な講座です。

東日本大震災とそれに伴い発生した東京電力福島第一原

子力発電所の事故。急性期に我々が経験したのは放射性物質の関与した特殊な救急医療とともに、避難による要支援者の避けられた災害死でした。一方、慢性期に我々が直面した現実、震災を契機に顕在化した既存の地域医療問題、低線量放射線被ばくによる未来の疾病への不安、復旧作業中の作業員医療ニーズの約半数が内因性疾患という種々の現実でした。

従って我々の使命は、福島のみならず広く世界の放射線災害医療ニーズに対し、我々の経験を啓発提供する「放射線災害医療の維持と発展」は勿論のこと、復興途上の「地域医療・救急医療の維持・充実」、原子力発電所作業員の外傷・疾病発生を予防する「労働衛生環境整備・予防医学」、「県民への福祉や保健（予防医学や健康意識の啓発）」、基礎・社会・臨床医学、医療・保健・福祉、医療・行政・事業所、国内外、歴史を知る先人と連携した「制度作り」と枚挙に遑がありません。

現実課題山積ですが、変革を厭わぬ謙虚さと実行力を保ちつつ、臥薪嘗胆・捲土重来の思いを胸に、社会貢献できればと存じます。それが多くの支援を頂いた我々が出来る数少ない御恩返しの一つだと思っております。

校内各位より末永いご指導ご鞭撻を賜ることができれば幸いです。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



### 教授就任ご挨拶

多能性幹細胞研究講座

教授 横内 裕二

平成26年11月1日付けで多能性幹細胞研究講座の教授に就任いたしました。本講座のミッションは、「疾患由来のヒトiPS細胞の樹立とそれを用いた創薬および再生医療の実現」です。現代の医学は極めて進歩しておりますが、未だに適切な治療法がない難病が存在し多くの患者様が苦しんでおられます。その理由の一つは、治療法開発のための適切なモデルを作り出すことが難しかったからであります。

しかし2006年のiPS細胞の発明以降、その状況は一変しました。iPS細胞は万能細胞であり、それから様々な機能細胞を分化させることが可能になりました。私は、このiPS細胞の持つポテンシャルを生かして難病制圧を行いたいと考えております。そのための具体的な目標は以下の通りです。

1. 樹立：難治性疾患由来iPS細胞を樹立する。
2. 細胞モデル開発：iPS細胞から特定機能細胞の分化誘導法を開発する。
3. 創薬：細胞モデルを用いて疾患に対する治療薬のスクリーニングを行う。

スクリーニングを行う。

4. ゲノム治療：iPS細胞とゲノム編集ツールを用いたゲノム修復を行う。

5. 人材育成：iPS細胞の利用に熟練した臨床医を養成する。

これまでの知識と経験を生かして、本学においてiPS細胞の研究拠点を築き、本学を起点とした幹細胞研究の人的ネットワークを東北地方に広げることを目指して研究と教育に邁進したいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



### 教授就任ご挨拶

先端がん免疫治療学講座

教授 河野 浩二

2014年11月から福島医大教授、先端がん免疫治療学講座、兼器官制御外科学講座を拝命いたしました河野浩二です。このたび、竹之下主任教授のご高配により、福島医大で働く機会をいただき、忙しくも充実した日々を過ごさせていただいております。私は1987年山梨大学を卒業、同第一外科に入局し、消化器外科医として、食道がん、胃がんの外科治療、および、がん免疫療法を実践してまいりました。福島医大着任前の3年間は、シンガポール国立大学の外科教授を拝命し、上部消化管の外科臨床と、がん免疫療法のTranslational researchの研究室を主宰しておりました（現在もポストを兼任しており、研究室は継続しております）。

福島医大における私の使命は大きく二つあると存じます。ひとつは、樹状細胞ワクチンを用いた癌免疫療法を確立し、先進医療として実践すること。もう一つは、食道癌治療の地域におけるHigh Volume Centerとして機能することです。この両分野において、福島医大から国内外に情報発信できるPerformanceを発揮できるよう精進いたします。

福島医大には不思議な縁を感じております。数年来、放射線腫瘍学講座の鈴木義行教授とは共同研究を継続しており、また、臓器再生外科講座の鈴木弘行教授とはがん免疫治療の学会で、さらに、臨床検査医学講座の志村教授は山梨大学の先輩ということで、旧知の先生方が活躍しているようです。周辺は、自然豊かな山梨ととても似ており、また、外科研修（25年前）で、会津若松の竹田総合病院に勤務した経験もあり、私としては、とてもしっくりとした、何か懐かしいような毎日を過ごさせていただいております。ふくしま国際医療科学センターなど新しい可能性を秘めた福島医大で、がん免疫治療と食道がん治療の両分

野で輝けるよう頑張る所存ですので、ご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



### 教授就任ご挨拶

医療人育成・支援センター  
教授 大谷 晃 司

平成26年8月1日付けで、医療人育成・支援センター教授に就任した大谷でございます。私は平成2年に本学を卒業し、そのまま本学整形外科に入局し、特に脊椎脊髄外科の研鑽を積んで参りました。平成20年度からは、医学部定員増と臨床研修、専門研修、そして生涯教育というシームレスな臨床医教育を実現すべく新たに整備された医療人育成・支援センターの准教授を拝命いたしており、今回、昇任という形となりました。

平成16年度から始まった新臨床研修制度は、すべての医師に対する基本的な診療能力の向上を目指した優れた制度である一方、結果としては、地方からの医師の流出を助長したように思われます。福島県においては、東日本大震災とそれに引き続く放射線問題も、これらの傾向を助長いたしました。しかし、なげいていても始まりません。福島医大の学生や他大学の医学生から、福島で研修を始めよう、福島でキャリアアップを図ろう、そして、福島から世界へ羽ばたいていこう、というような志のある者を招聘できるように学部の臨床教育や病院での研修内容の改善をはかっていると考えております。学部の臨床教育や研修医教育が充実してくれば、必ずや、福島医大附属病院や福島県内の病院に集う人が増えてくると確信しております。これらを実現するためには、制度の整備はもとより、その制度を動かしていく教員、上級医や指導医、あるいはその他の関係者が、熱い気持ちを持って後輩を育てようという“心意気”を持つことが必須と考えます。大学や附属病院をはじめとする県内の医療機関だけではなく、福島県や市町村、医師会、そして福島県民自身を巻き込んで“福島でよき医師を育てる”という土壤をつくることができると考えております。



### 特命教授就任ご挨拶

放射線医学県民健康管理センター  
特命教授 田中 成 省

平成26年10月1日付で、放射線医学県民健康管理センター広報推進室長、医科大学特命教授、医科大学広報コミュニケーション室員等を拝命しました。記者・編集者、医療機器・光学メーカーの経営企画、広報を経て現在に至ります。県民健康調査の広報が主務で、医大の広報業務も一部、担当します。宜しくお願いします。

震災から4年。福島に来て、復興に向けた取り組みのやり甲斐と難しさを等しく感じています。学内においては、自分たちの献身的な仕事が正当に評価されないことに対する、もどかしい思いを抱いている人の多さも知りました。

ただ、医大に対する視線は厳しいものだけではないことも事実です。県民健康管理センターのコールセンターに入ってきた一本の電話。「子どもが甲状腺検査を受けるに当たっての心配事を伝えたところ、会場ではスタッフの方々が大変よくサポートをしてくれました。皆さんにお礼を伝えてください」。

「わざわざお礼の電話をかけてくださったんです」と私に教えてくれたコールセンターメンバーの控えめな笑顔。入電内容を聞いた現場スタッフの方々の、はにかんだ表情。どちらも素敵でした。県民からの感謝の声と、仕事を評価された実感が組織の中に静かに伝わっていくさまを、誇らしく思いながら見ていました。

「福島に医大があっただけよかった」と今以上に県民に感じていただけるよう、May I help you? の姿勢で職責を果たしたいと思っております。ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。



### 教授就任ご挨拶

先端臨床研究センター  
教授 伊藤 浩

この度、先端臨床研究センター分子イメージング部門教授に着任いたしました。私はいわき市の出身で平成元年に本学を卒業後、東北大学加齢医学研究所機能画像医学研究分野に大学院生として入局し、放射線科医・核医学診療医として、臨床・研究・教育に従事して参りました。本学に赴任する直前は、千葉県にある独立行政法人放射線医学総

合研究所でPETによる分子イメージング研究を行なっていましたが、震災による原発事故以降、放射線医学総合研究所では福島復興支援が業務の柱の一つとなり、その縁で本学に赴任することになりました。

現在建設中の先端臨床研究センターはPETによる分子イメージングが中心の研究施設ですが、PETによる診療、研究のみならず、企業との連携による創薬への貢献も重要な事業の一つとなります。診療・研究・創薬の3つを実現するPET施設の設立は国内ではほとんど例がなく、学内外の方々と協力しながら是非とも成し遂げたいと思います。また、PETは臨床医学の研究者のみならず、基礎医学、理工系、薬学系、医療技術系などの研究者が協力して初めて実現する総合科学ですが、若い人たちに様々な分野の研究者と協力して診療や研究を行なっていくことの面白さ、大切さを伝えることも使命と考えています。

福島県は放射線医学の先進地域を目指さなければならなくなりましたが、先端臨床研究センターは放射線の医学利用という形で県民の健康増進に貢献していきます。福島県の医学・医療の発展に向けて全力で取り組んで参りますので、よろしくお願い申し上げます。



### 特命教授就任ご挨拶

先端臨床研究センター  
特命教授 阿部 敬

平成26年8月1日付けで、ふくしま国際医療科学センター・先端臨床研究センターの分子イメージング副部門長を拝命いたしました。主な仕事は、①先端臨床研究センターの収支改善を目的として、財務状況の分析・管理及び外部資金調達等、②分子イメージング部門の運営管理(PET検査の稼働率向上の対策検討等)を担当させていただきます。これまで教育・研究分野の経験はありませんがこれまでの業務経験を活かし一生懸命貢献できるように努力したいと考えております。

前職では、財務本省において長年にわたり外国為替(海外との取引等)政策の運営を担当しておりました。東北地方・福島県での仕事は初めてとなりますが、地方財務局にも数回出向し地方と本省とのパイプ役として、地方における経済情勢の把握・分析や国の予算の広報・要望のとりまとめ等を担当しておりましたので、このような経験も踏まえて、担当の仕事に尽力していきたいと考えております。

東日本大震災及び原子力発電所の事故から早4年になりますが、生活基盤の復旧・復興を如何に加速していくかが課題になっているように思います。特に医科大学には先進

的な医療サービスを提供することにより長期にわたり県民の健康不安を解消していく使命が課されていると承知しております。今後、ふくしま国際医療科学センターが復興の中心的な役割を果たすことができるよう微力ながら頑張っておりますので、ご指導方よろしくお願い申し上げます。



### 教授就任ご挨拶

医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター  
教授 高木基樹

平成26年7月1日付けで、ふくしま国際医療科学センター 医療-産業トランスレーショナルリサーチセンターケミカルバイオロジー分野の教授に就任致しました。本学に赴任してからは3年が経とうとしております。これまでは、大学、バイオベンチャー、国立の研究機関の研究員を渡り歩き、創薬研究、主に抗がん剤を中心とした薬剤のスクリーニングや薬効評価に関する研究を15年程度行って参りました。

現在は、医療-産業トランスレーショナルリサーチセンターケミカルバイオロジー分野にて、当センターで作製したヒト細胞、ヒトiPS由来細胞、細胞バンク等から入手したヒト細胞株を利用し、医薬品や臨床開発中の薬剤の薬効・毒性を効率的に評価する系の構築を行っております。薬剤に対する細胞応答性を精度の高い評価系で解析を行い、センター内の他分野と連携して臨床情報やゲノム配列、遺伝子発現、たんぱく質発現などの情報を付加し、薬剤とヒト細胞の応答性のデータベース作成を目指しております。このデータベースを用いて、動物実験や臨床試験を行う前に、医薬品候補化合物の薬効・毒性評価を行い、医薬品開発の効率化に貢献することを目指しております。さらに、新しい細胞材料や新規医薬品のスクリーニングシステム等を製薬企業等に提供することで、創薬研究を推進したいと考えております。今までの経験を活かし、福島復興プロジェクトである医療-産業トランスレーショナルリサーチセンターの発展に貢献できるよう頑張っていきますので、今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



## 主任教授就任ご挨拶

会津医療センター精神医学講座

主任教授 川 勝 忍

皆様、初めまして、平成26年8月から会津医療センター精神医学講座（心身医療科、緩和ケア科）に赴任しました。昭和59年に山形大学医学部を卒業し、同大学の精神医学講座に入り、以後、山形大学医学部附属病院で臨床、研究、教育を行ってきました。専門分野は老年精神医学、とくに認知症で、日本老年精神医学会、日本認知症学会の当初からのメンバーで現在、両学会で理事を務めさせて頂いております。我が国の認知症およびその予備群の患者数は900万人と言われ、さらに今後増加の一途をたどるとされており。認知症は、精神科、神経内科、脳神経外科、放射線科など幅広い領域に跨りますが、どの科でも認知症を専門とする医師は実は少ないのが現状です。研究方法としては神経画像診断と神経病理学を専門としています。以前は我が国では、神経病理学を専門とする精神医学講座の教授が多数いらっしゃいましたが、現在は私を含めて二人しかおりません。私は、認知症の初期診断、画像診断から最終の病理確定診断まですべてを網羅した認知症臨床を行ってきました。その中で、多くの研究者と共同研究も行い、いつの日か患者さんに還元されることを目指しています。認知症の領域では、次々と新しい疾患が見つかり、新しい検査法、治療法が開発され日進月歩ではありますが根本治療までにはまだ時間がかかり、現実的な対応としては介護、福祉との連携も重要な分野です。会津地方および福島県のために、これまでの知識と経験を生かし、貢献できればと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

## 諸規程改正

### ■ 平成26年4月から平成27年1月までの 主な諸規程の制定、改正及び改廃関係

- 「福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センターに関連する講座の教授適任者選考要綱」の一部改正について  
（平成24年11月21日制定・平成26年4月1日施行）  
教授適任者の選考に当たっては、意見を聞く者として副学長（総務担当）及びふくしま国際医療科学センター長に変更となりました。
- 「福島県立医科大学附属学術情報センター規程」の一部改正について  
（平成18年4月1日制定・平成26年4月1日施行）  
組織改正に伴い、学術情報センターの事務担当が「学生課」から「総務課」へ変更となりました。
- 「福島県立医科大学附属学術情報センター運営委員会規程」の一部改正について  
（平成18年4月1日制定・平成26年4月1日施行）  
組織改正に伴い、委員会の庶務担当が「学生課」から「総務課」へ変更となりました。
- 「福島県立医科大学附属学術情報センター運営委員会情報部会細則」の一部改正について  
（平成18年4月1日制定・平成26年4月1日施行）  
組織改正に伴い、部会の庶務担当が「学生課」から「総務課」へ変更となりました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学情報セキュリティ委員会要綱」の一部改正について  
（平成19年6月27日制定・平成26年4月1日施行）  
組織改正に伴い、委員名が「医療担当理事」から「医療・臨床教育担当理事」へ、庶務担当が「学生課」から「総務課」へそれぞれ変更となりました。
- 「ふくしま国際医療科学センター整備に伴う部活動支援金交付要綱」の制定について  
（平成26年4月1日制定・平成26年4月1日施行）  
ふくしま国際医療科学センターの整備に伴いグラウンドの使用に支障が生じている部活動の円滑な運営を図るために交付する支援金に関して必要な事項が定められました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学毒物及び劇物取扱要綱」の一部改正について  
（平成19年3月13日制定・平成26年4月1日施行）  
組織改正に伴い、講座等の定義に「男女共同参画支援室」、「広報コミュニケーション室」、「地域医療支援センター」及び「先端臨床研究センター各部門」が追加されました。

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学利益相反のマネジメントに関する要綱」の一部改正について<br/>(平成21年3月25日制定・平成26年4月1日施行)<br/>厚生労働科学研究を行う場合の申告及び企業等と関わりがある研究を行う場合の申告について追記されました。また、「研究に係る利益相反自己申告書」及び「(研究治験)実施計画書」が改正されました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学利益相反のマネジメントに関する要綱運用基準」の一部改正について<br/>(平成21年3月25日制定・平成26年4月1日施行)<br/>臨床研究又は治験を実施する場合、厚生労働科学研究を実施する場合及び企業等と関わりがある研究を実施する場合の書類の提出期限が追記されました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学公印規程」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年4月1日施行)<br/>組織及び運営規程が改正されたことに伴い、別表第1の「学生課長」が「教育研修支援課長」へ、「学生課学術情報室長」が「総務課学術情報室長」へ改正されました。</li> <li>○「福島県立医科大学附属学術情報センター運営委員会図書・展示部会細則」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年4月1日施行)<br/>部会員名が、「学生課学術情報室長」から「総務課学術情報室長」へ、庶務担当が、「学生課」から「総務課」へ変更となりました。</li> <li>○「附属学術情報センター運営委員会情報部会ワーキンググループ内規」の一部改正について<br/>(平成18年5月30日制定・平成26年4月1日施行)<br/>ワーキンググループの庶務担当が、「学生課」から「総務課」へ変更となりました。</li> <li>○「研究者データベースシステム取扱要綱」の一部改正について<br/>(平成18年11月9日制定・平成26年4月1日施行)<br/>登録されたデータの他機関への提出先が、「日本科学技術振興機構」から「独立行政法人科学技術振興機構」へ、庶務担当が「学生課」から「総務課」へ、登録申請書及び登録通知書の「アカウント名」が「ログイン名」へ変更となりました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学事務決裁規程」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年4月1日施行)<br/>組織改正及び代決権者の変更に伴い、別表が改正されました。</li> <li>○「福島県立医科大学附属病院臓器移植関係委員会設置要綱」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年4月1日施行)<br/>委員会の審議内容に、臓器摘出の可否について及び委員についてが追加されました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学企画広報戦略本部要綱」の制定について<br/>(平成26年4月1日制定・平成26年4月1日施行)<br/>企画広報戦略本部の具体的な組織及び業務内容等が定められました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院栄養管理運営要綱」の一部改正について<br/>(平成25年5月12日制定・平成26年4月1日施行)<br/>委託洗浄職員の勤務時間及び栄養管理業務に係る委託会社との業務区分が変更されました。</li> <li>○「男女共同参画推進本部要綱」の制定について<br/>(平成26年4月1日制定・平成26年4月1日施行)<br/>男女共同参画推進本部に係る必要な事項が定められました。</li> <li>○「男女共同参画支援室要綱」の制定について<br/>(平成26年4月1日制定・平成26年4月1日施行)<br/>男女共同参画支援室に係る必要な事項が定められました。</li> <li>○「女性医師の産休等に伴う定数配分先選定委員会規程」の一部改正について<br/>(平成23年10月1日制定・平成26年4月1日施行)<br/>「組織」に係る規定が改正されました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学学長裁量教育・研究費取扱要綱」の制定について<br/>(平成26年4月1日制定・平成26年4月1日施行)<br/>学長裁量教育・研究費の取扱いについて、必要な事項が定められました。</li> <li>○「福島県立医科大学看護学部学術委員会要綱」の一部改正について<br/>(平成24年5月15日制定・平成26年4月1日施行)<br/>「庶務」に係る規定が改正されました。</li> <li>○「福島県立医科大学看護学部広報委員会要綱」の一部改正について<br/>(平成18年6月20日制定・平成26年4月1日施行)<br/>学生課学術情報室から総務課学術情報室で庶務を行うこととなりました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学経理細則」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年4月1日施行)<br/>「事務引継」に係る規定が改正されました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター鍼灸研修生就業規則」の制定について<br/>(平成26年4月1日制定・平成26年4月1日施行)<br/>鍼灸研修生の就業に関する必要な事項が定められました。</li> <li>○「福島県立医科大学臨床教授等の称号付与に関する規程」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年5月1日施行)<br/>医学部のみにも適用していた臨床教授制度を看護学部にも適用する予定です。</li> </ul> |
|---|--|

においても適用することに伴い、称号の種類に看護学臨床教授、看護学臨床准教授及び看護学臨床講師が追加されました。

○「福島県立医科大学看護学臨床教授等に関する申合せ」の制定について

(平成26年4月15日制定・平成26年5月1日施行)

「福島県立医科大学医学部臨床教授等の称号付与に関する規程」の一部改正に伴い、看護学臨床教授等に関する必要な事項が定められました。

○「福島県立医科大学医学臨床教授等に関する申合せ」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成26年5月1日施行)

「福島県立医科大学医学部臨床教授等の称号付与に関する規程」の一部改正に伴い、申合せ中の「臨床教授」が「医学臨床教授」に改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学職員懲戒要綱」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成26年5月1日施行)

理事の担当変更に伴い、懲戒審査会の構成員が副学長(総務担当)から役員(企画・地域医療担当)へ改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学人事管理委員会規程」の一部改正について

(平成19年7月2日制定・平成26年5月1日施行)

理事の担当変更に伴い、委員会の委員が「副学長(総務担当)」から「企画・地域医療担当理事」へ変更となりました。

○「女性医師の産休等に伴う定数配分先選定委員会規程」の一部改正について

(平成23年10月1日制定・平成26年5月1日施行)

「組織」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学公的研究費の管理・運営体制に関する要綱」の一部改正について

(平成20年4月1日制定・平成26年5月19日施行)

「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」が改正されたことに伴い、改正年月日が追加されました。また、コンプライアンス推進責任者が新たに設置されました。

○「福島県立医科大学情報ネットワークシステム利用要綱」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成26年5月27日施行)

「無線LANゲスト利用申請書」及び「無線LANゲスト利用許可書」が追加されました。

○「福島県立医科大学情報処理演習室利用要綱」の一部改正について

(平成20年3月13日制定・平成26年5月27日施行)

利用できる時間が平日は午前6時から午前0時まで、土曜日は午前6時から午後2時までに変更されました。

○「福島県立医科大学学術成果リポジトリ取扱要綱」の一部改正について

(平成22年3月25日制定・平成26年5月28日施行)

センター長は、リポジトリへの登録依頼がない場合であっても、法令及び本学法人規程の定めがある場合は教育・研究成果物の公開の可否を判断できることとなりました。また、庶務担当が、「学生課」から「総務課」へ変更となりました。

○「公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成26年6月1日施行)

附属病院の自由診療に関する諸料金の「泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節移転に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術」他2件が追加されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学知的財産権の実施許諾等に関する規程」の制定について

(平成26年6月16日制定・平成26年6月16日施行)

本学が有する知的財産権に関して、企業等への実施許諾及び譲渡についての事項が定められました。

○「公立大学法人福島県立医科大学核燃料物質計量管理規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成26年6月29日施行)

核燃料物質管理報告書提出の根拠条文が改正されたことに伴い、「報告」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成26年7月1日施行)

大学の内部組織に漢方内科及びリハビリテーション科が追加されました。また、小児腫瘍科が小児腫瘍内科へ組織改正されました。

○「福島県立医科大学附属病院規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成26年7月1日施行)

本院の診療科に漢方内科及びリハビリテーション科が追加されました。また、小児腫瘍科が小児腫瘍内科へ組織改正されました。

○「福島県立医科大学附属病院医薬品等臨床試験実施細則」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成26年7月1日施行)

書式に係る定義が改正されました。

○「福島県立医科大学会津医療センター防火・防災管理委員会設置要綱」の一部改正について

(平成26年7月1日制定・平成26年7月1日施行)

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センターの防火・防災管理委員会に係る事項が定められました。

○「福島県立医科大学倫理委員会専門部会運営要綱」の制定について

(平成26年8月1日制定・平成26年8月1日施行)

倫理委員会専門部会の組織、運営及び審査方法等に関する規定が定められました。

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○「福島県立医科大学倫理委員会規程」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年8月1日施行)<br/>倫理委員会専門部会の設置に伴い、「委員会の責務等」、「用語の定義」、「専門部会」、「申請手続き及び判定の通知等」、「委員会の議事」、「迅速審査」及び「有害事象発生時の対応」に係る規定が改正されました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年8月1日施行)<br/>医学部に「放射線腫瘍学講座」、附属病院に「放射線治療科」が追加されました。</li> <li>○「福島県立医科大学附属病院規程」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年8月1日施行)<br/>附属病院の診療科に「放射線治療科」が追加されました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター拾得物取扱要綱」の一部改正について<br/>(平成25年5月12日制定・平成26年8月12日施行)<br/>拾得物の引き継ぎ頻度が、1ヶ月に1回から2週間に1回程度へ変更となりました。</li> <li>○「福島県立医科大学会津医療センター臨床倫理委員会要綱」の制定について<br/>(平成26年8月19日制定・平成26年8月19日施行)<br/>会津医療センター臨床倫理委員会の設置及び運営に関して、必要な事項が定められました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年9月1日施行)<br/>医学部に腫瘍内科学講座、附属病院に腫瘍内科が新設されました。</li> <li>○「福島県立医科大学附属病院規程」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年9月1日施行)<br/>診療科に「腫瘍内科」が新設されました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院救急委員会設置要綱」の制定について<br/>(平成26年9月24日制定・平成26年9月24日施行)<br/>福島県立医科大学会津医療センター附属病院救急委員会に関し必要な事項が定められました。</li> <li>○「放射線医学県民健康管理センターリスクマネジメント委員会設置要綱」の一部改正について<br/>(平成24年10月1日制定・平成26年10月1日施行)<br/>県民健康調査の名称変更に伴い、「趣旨」、「組織」、「委員長」及び「調査審議事項」に係る規定が改正されました。</li> <li>○「福島県立医科大学大学院学則」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年10月1日施行)<br/>大学院看護学研究科のカリキュラム改正に伴い、授業科目が改正されました。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学成果有体物取扱に関する特例規程」の制定について<br/>(平成26年10月1日制定・平成26年10月1日施行)<br/>福島医薬品関連産業支援拠点化事業における成果有体物の取扱いに関し必要な事項が定められました。</li> <li>○「PET 機器の研究利用にかかる実施要綱」の一部改正について<br/>(平成26年1月1日制定・平成26年10月1日施行)<br/>PET 機器の使用料金が改正されました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年10月1日施行)<br/>医学部に放射線災害医療学講座が新設されました。</li> <li>○「平成26年度学長裁量教育・研究費（研究支援）実施に関する内規」の制定について<br/>(平成26年10月23日制定・平成26年10月23日施行)<br/>公立大学法人福島県立医科大学学長裁量教育・研究費取扱要綱に基づき定められたプロジェクトテーマの一つである「研究支援」への取組について必要な事項が定められました。</li> <li>○「福島県立医科大学会津医療センター臨床倫理委員会要綱」の一部改正について<br/>(平成26年8月19日制定・平成26年10月24日施行)<br/>「組織」に副委員長に係る規定が追加されました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学託児所運営要綱」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年11月1日施行)<br/>託児所の定員が70名から75名に増加されました。</li> <li>○「公立大学法人福島県立医科大学附属病院材料委員会運営要領」の一部改正について<br/>(平成22年10月6日制定・平成26年11月1日施行)<br/>申請書の名称変更に伴い、「新規採用の審議」及び「未採用材料緊急限定採用の審議」に係る規定が改正されました。</li> <li>○「福島県「県民健康調査」データ利用・解析、結果発表及び審査要綱」の制定について<br/>(平成26年11月1日制定・平成26年11月1日施行)<br/>福島県「県民健康調査」の調査データの適切な利用に関し必要な事項が定められました。</li> <li>○「福島県立医科大学附属病院医師主導治験実施要綱」の一部改正について<br/>(平成24年2月1日制定・平成26年11月10日施行)<br/>GCP 省令、臨床試験実施細則の改正等及び医療機器試験に対応可能とすることに伴い、参照規程の修正及び医療機器等管理者の追加がなされました。</li> <li>○「福島県立医科大学附属病院医薬品等臨床試験実施細則」の一部改正について<br/>(平成18年4月1日制定・平成26年11月10日施行)<br/>一般社団法人東北臨床研究診査機構の治験審査委員会</li> </ul> |
|---|---|

の設置及び業務の円滑化に伴い、当院以外の治験審査委員会を選択できる旨の追加及び医療機器等管理補助者の設置がなされました。

○「公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院医師主導治験実施要綱」の制定について

(平成26年11月10日制定・平成26年11月10日施行)

会津医療センター医師主導治験の取り扱いに係る規定が定められました。

○「公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院医薬品等臨床試験実施細則」の一部改正について

(平成25年9月1日制定・平成26年11月10日施行)

厚生労働省通知による統一書式の改正等に伴い、「定義」、「治験審査委員会の選択」、「外部治験審査委員会」、「治験責任医師の責務」、「治験の申込み」、「治験医療機器等の管理」及び「補則」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学学生の懲戒処分に関する内規」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成26年11月17日施行)

大学組織の再編による名称変更に伴い、「報告の義務等」に係る規定の学生課が教育研修支援課に改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院中央診療部門運営委員会要綱」の一部改正について

(平成25年5月12日制定・平成26年12月1日施行)

「報告」に係る規定が削除されました。また、「雑則」に係る規定に関して、委員会の運営に関し必要な事項の制定者が「副病院長(中央診療部門担当)」から「委員長」に改正されました。

○「福島県立医科大学附属病院臓器移植適応評価委員会設置要綱」の一部改正について

(平成23年11月1日制定・平成26年12月1日施行)

適応評価委員会の審議対象に心臓移植が追加されたことに伴い、「目的」、「組織等」、「申請手続及び適応評価結果の通知」及び「臓器移植適応評価部会」に係る規定が改正されました。

○「福島県県民健康調査「健康診査」個別健診実施要綱」の制定について

(平成26年12月16日制定・平成26年12月16日施行)

福島県県民健康調査「健康診査」を実施する上での必要な事項が定められました。

○「公立大学法人福島県立医科大学における研究活動に係る不正行為への対応に関する要綱」の全部改正について

(平成19年11月2日制定・平成26年12月26日施行)

不正行為の告発の受付、予備調査、本調査(研究不正調査委員会)、認定及び調査結果の公表等について手続き・方法を定めるとともに、不正行為があった場合には迅速に調査を実施し適切な対応を行うこととなりました。

○「公立大学法人福島県立医科大学公的研究費の管理・運営体制に関する要綱」の一部改正について

(平成19年11月2日制定・平成26年12月26日施行)

最高管理責任者及び統括管理責任者の不正防止対策に対する役割が追加されました。また、コンプライアンス推進責任者に係る役割及び管理責任が追加されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学職員給与規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成26年12月26日施行)

勤勉手当の算定額等が改正となりました。

○「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年1月1日施行)

医学部に「健康リスクコミュニケーション学講座」が追加されました。

○「看護学部講座研究費についての申合せ」の一部改正について

(平成22年5月18日制定・平成27年1月20日施行)

「公的研究費の不正使用への対応」に係る規定が追加されました。

○「医学部講座研究事業についての申合せ」の一部改正について

(平成22年7月21日制定・平成27年1月21日施行)

「公的研究費の不正使用への対応」に係る規定が追加されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学役員報酬規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年1月30日施行)

「期末特別手当」に係る規定が改正されました。

## 役員会・経営審議会・ 教育研究審議会・医学部 教授会・看護学部教授会

### ■ 役員会

【平成26年6月25日 第4回役員会】

#### ○寄附講座の設置

次のとおり、新たな寄附講座を設置することが承認された。

(名称)

福島県立医科大学 白河総合診療アカデミー

(設置期間)

平成27年4月～平成32年3月(5年間)

(研究テーマ)

総合診療領域の臨床研究及び地域住民の疾病発症予防や健康長寿の延伸に資する研究

#### 【平成26年7月30日 第5回役員会】

##### ○寄附講座の設置

次のとおり、新たな寄附講座を設置することが承認された。

(名称)

多能性幹細胞研究講座

(設置期間)

平成26年8月～平成29年3月(2年8ヶ月間)

(研究テーマ)

疾患特異的万能細胞の樹立・治療薬探索・抗体作製に関する研究

#### 【平成26年9月24日 第7回役員会】

##### ○寄附講座の設置

次のとおり、新たな寄附講座を設置することが承認された。

(名称)

先端がん免疫治療学講座

(設置期間)

平成26年11月～平成29年10月(3年間)

(研究テーマ)

がん免疫細胞治療法の臨床応用研究及び臨床家の育成

## ■ 経営審議会

#### 【平成26年6月24日 平成26年度第2回経営審議会】

##### ○公立大学法人福島県立医科大学理事長選考会議委員の選出について

経営審議会委員より次のとおり選出された。

大戸 齊 委員

紺野 愼一 委員

前原 和平 委員

##### ○平成25年度年次決算(案)について

平成25年度年次決算案について諮られ、原案のとおり承認された。

#### 【平成26年12月8日 平成26年度第3回経営審議会】

##### ○第2期中期目標の中間見直しと中期計画変更原案について

第2期中期目標の中間見直しと中期計画変更原案について諮られ、原案のとおり承認された。

## ■ 教育研究審議会

#### 【平成26年6月24日 平成26年度第1回教育研究審議会】

##### ○公立大学法人福島県立医科大学理事長選考会議委員の選出について

次のとおり選出された。

阿部 正文 委員(総括副学長)

真壁 玲子 委員(看護学部長)

錫谷 達夫 委員(医学部長)

また、補充委員として、本間 好委員(医学部附属生体情報伝達研究所長)が指名された。

#### 【平成26年9月12日 平成26年度第2回教育研究審議会】

##### ○名誉教授称号の授与について

本年9月30日付けで退任される志賀令明教授(看護学部総合科学部門)に対し、名誉教授称号の授与が決定された。なお、称号の授与日については、本年の10月1日付けとされた。

##### ○福島県立医科大学学則の一部改正について

大学院看護学研究科のカリキュラム改正に伴う大学院学則の一部改正を行うことについて諮られ、原案のとおり承認された。

## ■ 医学部教授会

#### 【平成26年7月16日 定例教授会】

##### ○倫理委員会委員の推薦について

次のとおり選出された。

・生命科学・社会医学系：橋本康弘教授、大平哲也教授

・臨床医学系：山本俊幸教授、大森孝一教授

##### ○倫理委員会専門部会設置に当たっての部会員候補者の推薦について

次のとおり選出された。

・分子生物学、細胞生物学、生物学を専門とする講座等の教授：千葉英樹教授、和田郁夫教授

・ヒト幹細胞を用いる臨床研究又は遺伝子治療臨床研究が対象とする疾患にかかる臨床医：大森孝一教授、小川一英教授

・生殖医学を専門とする講座等の教授：藤森敬也教授、小島祥敬教授

・生命倫理に関する識見を有する者：藤野美都子教授

## ■ 看護学部教授会

#### 【平成26年7月15日 定例教授会】

##### ○倫理委員会委員の推薦について

太田 操教授(母性看護学・助産学部門)、坂本祐子教授(療養支援看護学部門)が推薦された。

## 雑 報

### ■ 寄附講座の設置について

本学では下記のとおり、寄附講座を開設しました（平成26年5月1日～平成27年1月31日）。

- 名 称  
多能性幹細胞研究講座
- 設置期間  
平成26年8月1日～平成29年3月31日
- 寄附者  
ゼノアックリソース株式会社
- 設置場所  
福島県福島市光が丘1番地  
(公立大学法人福島県立医科大学内)
- 研究体制  
講座主任：竹之下誠一  
教 授：横内 裕二  
特任教授：江良 択実  
特任教授：阿久津英憲  
准 教 授：中村 泉  
講 師：隈元 謙介
- 研究テーマ  
疾患特異的万能細胞の樹立・治療薬探索・抗体作製に関する研究
  
- 名 称  
先端がん免疫治療学講座
- 設置期間  
平成26年11月1日～平成29年10月31日
- 寄附者  
テラ株式会社
- 設置場所  
福島県福島市光が丘1番地  
(公立大学法人福島県立医科大学内)
- 研究体制  
講座主任：竹之下誠一  
教 授：河野 浩二  
教 授：鈴木 弘行  
教 授：佐治 重衡  
教 授：鈴木 義行  
特任教授：柴田 昌彦
- 研究テーマ  
がん免疫細胞治療法の臨床応用研究および臨床家の育成

## ■ 平成26年度 科学研究費助成事業補助金採択状況（研究代表者）

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	神経解剖・発生学講座	教 授	八木沼洋行	基盤研究（C）	24500414	発生早期に特定の運動神経に起こる細胞死を決定する転写因子の解明
医学部	神経解剖・発生学講座	助 教	向笠 勝貴	研究活動スタート支援	25890016	発生早期の頸髄神経で観察される細胞分化とリンクしたアポトーシスに関する研究
医学部	解剖・組織学講座	教 授	和栗 聡	基盤研究（B）	24390048	オメガソーム細管構造の研究－サブミクロンレベルの形態学と分子機能
医学部	解剖・組織学講座	教 授	和栗 聡	挑戦的萌芽研究	24659088	癌細胞の生存戦略に関与する新規細胞膜ドメイン構造の解析
医学部	解剖・組織学講座	助 教	安納 弘道	挑戦的萌芽研究	25560375	がんカヘキシ－の骨格筋萎縮におけるオートファジーの解明と運動による改善
医学部	解剖・組織学講座	助 教	植村 武文	若手研究（B）	26830080	細胞増殖・癌病態を制御する受容体型チロシンキナーゼの新規寿命調節機構の分子基盤
医学部	細胞統合生理学講座	教 授	挾間 章博	基盤研究（C）	26460299	臓器セシウム蓄積に関わる細胞膜セシウム輸送経路の解明
医学部	システム神経科学講座	准教授	浄土 英一	基盤研究（C）	25461775	統合失調症動物モデルにおける認知障害発現に関わる神経機構の解明
医学部	生化学講座	教 授	橋本 康弘	新学術領域研究	24110511	神経細胞の糖鎖認識による髄液糖タンパク質の直接取り込み機構の解析
医学部	生化学講座	教 授	橋本 康弘	基盤研究（C）	26460394	中枢神経疾患における“脳型”糖タンパク質の代謝および診断的意義
医学部	生化学講座	講 師	苅谷 慶喜	若手研究（B）	25860243	$\alpha 6\beta 4$ インテグリンによる癌の生存戦略機構の解明
医学部	生化学講座	主任医療技師	星 京香	奨励研究	26931038	突発性正常圧水頭症における認知症状の改善を示す術後予後マーカーの探索
医学部	免疫学講座	教 授	関根 英治	挑戦的萌芽研究	26670478	補体因子 MASP-1/3 を標的とする新規製剤の開発と SLE モデル動物への治療効果
医学部	免疫学講座	講 師	高橋 実	基盤研究（C）	26460393	3 MC 症候群の病態への補体関連因子 MASP-1/3 の関与とその分子機構の研究
医学部	免疫学講座	助 教	坂本 夏美	若手研究（B）	26860755	IgG4 関連腎臓病モデルマウスの確立とその病態への自己反応性 Th2 細胞の役割
医学部	薬理学講座	教 授	木村 純子	基盤研究（C）	24590325	芍薬甘草湯が抗癌薬パクリタキセルの副作用を緩和するメカニズムの研究
医学部	薬理学講座	准教授	色摩 弥生	基盤研究（C）	26461409	骨髄異形成症候群の無効造血に対する分子標的治療に向けての基礎的検討
医学部	薬理学講座	講 師	坂本 多穂	基盤研究（C）	25460338	ストレスによるクラスリン依存性転写調節の解析
医学部	微生物学講座	教 授	錫谷 達夫	基盤研究（C）	26460682	サイトメガロウイルスに対する細胞性免疫能測定検査の開発と病態解明
医学部	微生物学講座	助 教	生田 和史	若手研究（B）	25870580	感染細胞指向性の違いにより病原性が異なるサイトメガロウイルスの型判別法開発
医学部	基礎病理学講座	教 授	千葉 英樹	挑戦的萌芽研究	26670191	細胞間接着シグナルを利用した革新的ダイレクト・リプログラミング法の開発
医学部	基礎病理学講座	准教授	井村 徹也	基盤研究（C）	25430039	シグナル伝達分子 HMGB を用いた成体神経新生の制御と活性評価法の確立
医学部	基礎病理学講座	講 師	富川 直樹	基盤研究（C）	26460475	タイト結合分子クローデインによる新規上皮分化誘導機構の解明
医学部	基礎病理学講座	助 手	田中 瑞子	若手研究（B）	25860271	新規肺癌予後マーカーS100A14の機能解析と臨床応用
医学部	衛生学・予防医学講座	助 教	各務 竹康	若手研究（B）	25860464	震災・原発事故で疲弊した零細事業所労働者に対するターゲットを絞った保健指導の効果
医学部	衛生学・予防医学講座	助 手	辻 雅善	若手研究（B）	24790589	毛髪を用いた飲酒履歴モニタリング手法の確立
医学部	衛生学・予防医学講座	助 手	日高 友郎	若手研究（B）	25860465	社会生活の充実が施設療養中の認知症高齢者の QOL に与える影響の検討
医学部	公衆衛生学講座	助 教	伊藤 慎也	研究活動スタート支援	26885060	放射線被ばくによる妊娠出産に対する不安のエンパワメント評価
医学部	法医学講座	教 授	黒田 直人	基盤研究（C）	23590842	回転性脳損傷における側脳室前角上衣下損傷の意義に関する法医学病理学的研究
医学部	法医学講座	助 教	加藤 菜穂	若手研究（B）	23792078	下肢虚血再還流障害の病態解析～新たな治療法開発を目指して～
医学部	放射線生命科学講座	教 授	坂井 晃	基盤研究（C）	25460694	低線量被ばくにおける染色体解析を用いた生物学的線量評価方法の確立

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	放射線生命科学講座	准教授	津山 尚宏	基盤研究 (C)	24619004	ピエゾ振動ナノCIによる低極性分子標的 LiveSingle-cellIMS 法の開発
医学部	疫学講座	教 授	大平 哲也	挑戦的萌芽研究	26670334	心理的因子と肥満・糖脂質代謝異常との心身連関に関する疫学研究
医学部	疫学講座	助 教	広崎 真弓	若手研究 (B)	26860425	地域在住高齢者におけるポジティブ感情の予防医学的効果の検討
医学部	疫学講座	助 教	永井 雅人	研究活動スタート支援	25893098	脳卒中発症長期データベースによる、時代・コホート効果の発症率への影響探索と予測
医学部	疫学講座	助 教	章 ぶん	研究活動スタート支援	26893215	福島県「県民健康管理調査」健康診査結果の震災前後の変化に及ぼす心理社会要因の影響
医学部	疫学講座	助 手	中野 裕紀	研究活動スタート支援	26893214	福島県における県内外避難者を対象とした循環器疾患発症登録システムの開発
医学部	循環器・血液内科学講座	教 授	竹石 恭知	基盤研究 (C)	24591100	抗加齢に着目した難治性心不全に対する新しい治療法の開発
医学部	循環器・血液内科学講座	准教授	義久 精臣	基盤研究 (C)	25461061	睡眠時無呼吸症候群合併及び非合併心不全患者に対する呼吸補助療法の確立
医学部	循環器・血液内科学講座	講 師	中里 和彦	基盤研究 (C)	24591064	バイオマーカーを用いた急性冠症候群の病態解明と早期診断確立に向けた研究
医学部	循環器・血液内科学講座	講 師	野地 秀義	基盤研究 (C)	25461431	遺伝子セットを用いた MDS 症例での AML 移行リスクの評価法の確立
医学部	循環器・血液内科学講座	助 教	池田 和彦	基盤研究 (C)	24591405	HMG2 の造血管腫瘍異常クローン拡大・増殖における役割の解明
医学部	循環器・血液内科学講座	助 教	松本 勇人	若手研究 (B)	24790980	急性骨髄性白血病における腫瘍マーカーと予後予測遺伝子セットの探索
医学部	循環器・血液内科学講座	助 教	及川 雅啓	若手研究 (B)	25860613	PDE3A が持つ多面的な心保護作用の探索と心不全治療への応用
医学部	循環器・血液内科学講座	助 教	鈴木 聡	若手研究 (B)	25870584	梗塞後リモデリングにおける pentraxin3 とインフラマソームとの関連
医学部	循環器・血液内科学講座	助 教	植田 航希	若手研究 (B)	26860720	Hmga2 トランスジェニックマウス等を用いた骨髄増殖性疾患の病態解明
医学部	循環器・血液内科学講座	博士研究員	山田 慎哉	若手研究 (B)	26860577	老化に伴う酸化ストレスと冠血管攣縮との関連について
医学部	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	教 授	大平 弘正	基盤研究 (C)	24590987	自己免疫性肝炎における新規 PEPCK 抗体の有用性に関する研究
医学部	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	助 教	鈴木 英二	若手研究 (B)	25860814	SLE における Fli-1 を介した形質細胞様樹状細胞の分化・IFN の発現機構の解明
医学部	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	准教授	佐藤 博亮	挑戦的萌芽研究	24659570	放射性セシウム内部被曝が糖代謝に及ぼす影響についての研究
医学部	神経内科学講座	教 授	宇川 義一	基盤研究 (B)	25293206	単相性反復磁気刺激によるヒト大脳・小脳・脊髄の可塑性誘導法の開発：その基礎と臨床
医学部	神経内科学講座	講 師	榎本 博之	基盤研究 (C)	25461322	運動皮質可塑性から見たパーキンソン病治療計画の立案
医学部	神経内科学講座	講 師	星 明彦	基盤研究 (C)	26461314	神経変性疾患の病態に水チャネル-アクアポリンは関与するの？
医学部	神経内科学講座	助 教	村上 丈伸	若手研究 (B)	26860675	アルツハイマー病に対する磁気刺激と認知機能訓練とのハイブリッド治療の開発
医学部	呼吸器内科学講座	教 授	棟方 充	挑戦的萌芽研究	23659436	軽微な線維化肺を用いた網羅的遺伝子発現解析による特発性肺線維症の病態・病因解明
医学部	臓器再生外科学講座	教 授	後藤 満一	挑戦的萌芽研究	25670558	Tissue Engineering をもちいた抗腫瘍免疫応答の誘導
医学部	臓器再生外科学講座	教 授	鈴木 弘行	基盤研究 (C)	25462182	肺癌のエピジェネティクス異常を標的とした化学療法耐性メカニズムの解明
医学部	臓器再生外科学講座	助 教	清水 裕史	基盤研究 (C)	24591885	膀胱細胞シートを用いた複合型新生膀胱組織の開発
医学部	臓器再生外科学講座	助 教	見城 明	基盤研究 (C)	24592035	膀胱癌患者における骨髄由来抑制性細胞の影響と治療を介した免疫環境変動に関する検討
医学部	臓器再生外科学講座	助 教	穴澤 貴行	若手研究 (B)	25861208	イオンチャネル制御と小胞体ストレス応答制御による膀胱の恒常性維持とその応用
医学部	臓器再生外科学講座	博士研究員	佐瀬善一郎	若手研究 (B)	26861091	消化器がん患者に対する制御性 B 細胞を標的とした免疫療法の開発
医学部	器官制御外科学講座	教 授	竹之下誠一	基盤研究 (C)	24591979	リンパ節転移を予測する新規大腸癌マーカーの機能解析
医学部	器官制御外科学講座	准教授	福島 俊彦	基盤研究 (C)	25461989	小児甲状腺癌の分子生物学的特性の解明

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	器官制御外科学講座	講 師	隈元 謙介	基盤研究 (C)	26462022	新規癌抑制遺伝子候補 SVS-1 の癌抑制のメカニズムの解明と治療への応用
医学部	器官制御外科学講座	博士研究員	岡山 洋和	若手研究 (B)	25870582	糖鎖遺伝子発現による大腸癌マーカー開発と糖鎖を制御するマイクロ RNA の同定と解析
医学部	脳神経外科学講座	助 手	岸田 悠吾	若手研究 (B)	24791514	髄膜腫の悪性サブグループの発生メカニズムを解明する
医学部	整形外科科学講座	教 授	紺野 慎一	基盤研究 (C)	25462298	運動器の臨床疫学研究 (LOHAS)
医学部	整形外科科学講座	教 授	矢吹 省司	基盤研究 (C)	24592205	運動器の痛みの客観的評価法と有用な治療法の確立に関する研究
医学部	整形外科科学講座	准教授	箱崎 道之	若手研究 (B)	25861331	骨軟部肉腫に対する選択的 cyclooxygenase-2 阻害薬の効果
医学部	形成外科学講座	教 授	上田 和毅	基盤研究 (C)	24592717	神経再生軸索の分散・収束に関する実験的研究
医学部	産科婦人科学講座	教 授	藤森 敬也	基盤研究 (C)	25462569	高サイトカイン血症下における胎児パラメータの包括的評価法の確立－羊胎仔実験モデル
医学部	産科婦人科学講座	講 師	菅沼 亮太	若手研究 (B)	24791715	卵細胞質内精子注入法における高倍率下精子選別法の有効性・安全性に関する基礎的検討
医学部	小児科学講座	教 授	細矢 光亮	基盤研究 (C)	24591581	血管内皮細胞タイトジャンクションの動的評価によるウイルス関連急性脳症の病態の解明
医学部	小児科学講座	教 授	桃井 伸緒	基盤研究 (C)	25461650	低酸素が心臓形態形成期の胎児心行動態に及ぼす影響について
医学部	小児科学講座	准教授	川崎 幸彦	基盤研究 (C)	26461615	急性・慢性腎障害の発症・進展過程における DAMPs の役割とその制御システムの検討
医学部	小児科学講座	准教授	橋本 浩一	基盤研究 (C)	24591582	RSV 感染症克服を目指した「RSV 妊婦ワクチン」の基礎的研究
医学部	小児科学講座	講 師	陶山 和秀	基盤研究 (C)	26461590	難治性中枢神経感染症の発症・進展過程における DAMPs の役割とその制御システム
医学部	小児科学講座	助 手	遠藤 起生	若手研究 (B)	26860815	川崎病における IL-1RA 関連因子および遺伝子多型の検討と、治療薬としての可能性
医学部	眼科学講座	教 授	石龍 鉄樹	基盤研究 (C)	25462724	代謝関連眼底自発蛍光による加齢黄斑変性の病態解明
医学部	眼科学講座	助 教	森 隆史	基盤研究 (C)	26462644	弱視治療年齢の調節麻痺下屈折値を非侵襲的検査で推測するための等高線図を作成する
医学部	眼科学講座	助 手	伊勢 重之	若手研究 (B)	25861642	脈絡膜・強膜観察による黄斑疾患発症メカニズムの解明
医学部	泌尿器科学講座	教 授	小島 祥敬	基盤研究 (C)	26462448	前立腺肥大症に対するゲノム薬理学に基づく個別化治療と創薬開発に向けた基礎的研究
医学部	泌尿器科学講座	准教授	相川 健	基盤研究 (C)	26462449	膀胱周囲脂肪組織を介する膀胱機能障害のメカニズム解明に立脚した新規治療の開発
医学部	泌尿器科学講座	講 師	石橋 啓	基盤研究 (C)	25462492	腎癌に対するサイトカインシグナル制御による新しい抗体療法の開発
医学部	泌尿器科学講座	助 教	柳田 知彦	基盤研究 (C)	26462418	腎癌の網羅的遺伝子発現解析に基づく新規予後関連遺伝子からの治療標的の探索
医学部	泌尿器科学講座	助 教	櫛田 信博	基盤研究 (C)	26462447	膀胱粘膜に存在する自律収縮 その特性と過活動膀胱の新規発症メカニズムの解明
医学部	泌尿器科学講座	助 教	羽賀 宣博	基盤研究 (C)	26462462	ED ならびに LUTS に対する抗酸化作用に着目した予防治療法の開発
医学部	泌尿器科学講座	病院助手	赤井畑秀則	若手研究 (B)	26861279	動脈硬化症に伴う過活動膀胱への Rho-kinase の関与と新規治療薬への応用
医学部	泌尿器科学講座	博士研究員	松岡 俊光	基盤研究 (C)	25462517	進行性膀胱機能障害への分子スイッチの探索
医学部	泌尿器科学講座	博士研究員	鶴谷 善昭	基盤研究 (C)	26462463	サイトメガロウイルス DNA 多型による腎移植後の急性拒絶反応機序の解明
医学部	泌尿器科学講座	博士研究員	川島 洋平	若手研究 (B)	25861432	動脈硬化マウスと早期老化マウスを用いた経時的な排尿動態の検討
医学部	泌尿器科学講座	博士研究員	小川総一郎	若手研究 (B)	25861433	ヒト膀胱平滑筋弛緩メカニズムの解明と蓄尿障害に対する新規治療法への応用
医学部	耳鼻咽喉科学講座	教 授	大森 孝一	基盤研究 (B)	26293371	マウスおよびヒト iPS 細胞を用いた頭頸部組織の再生技術開発
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 手	鈴木 政博	基盤研究 (C)	26462614	新しい分子生物学的手法を用いたリンパ節転移診断の研究開発
医学部	耳鼻咽喉科学講座	講 師	松井 隆道	基盤研究 (C)	24592555	先天性サイトメガロウイルス感染による聴覚障害の治療長期予後に関する研究

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	耳鼻咽喉科学講座	講 師	多田 靖宏	基盤研究 (C)	26462615	新たに開発した人工気管による気管上皮再生促進効果の解明
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 教	野本 幸男	基盤研究 (C)	24592604	軟骨細胞及び軟骨膜細胞を利用した気管軟骨の再生に関する研究
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 教	今泉 光雅	若手研究 (B)	26861404	ヒト iPS 細胞を用いた喉頭組織再生に関する研究
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 手	大槻 好史	若手研究 (B)	25861576	マウス iPS 細胞由来胚様体を用いた気管上皮再生
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 手	谷 亜希子	若手研究 (B)	26861402	成長因子を用いた気管粘膜再生過程
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 手	野本 美香	若手研究 (B)	26861403	軟骨細胞と線維芽細胞を用いた新規人工気管の開発
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 手	鈴木 亮	研究活動スタート支援	25893194	ウサギ生体由来多能性幹細胞 (Muse 細胞) を利用した気管再生
医学部	耳鼻咽喉科学講座	博士研究員	吉江 進	若手研究 (B)	26861405	ヒト iPS 細胞を用いた気管軟骨への分化誘導に関する研究
医学部	神経精神医学講座	講 師	國井 泰人	新学術領域研究	25116520	統合失調症脳内タンパク質群の発現解析－タンパク質多項目同時測定システムを用いて－
医学部	神経精神医学講座	助 教	石川 大道	若手研究 (B)	22791137	成人期注意欠如／多動性障害の診断における CPT の有用性に関する研究
医学部	神経精神医学講座	博士研究員	丹羽 真一	基盤研究 (C)	26461770	統合失調症の社会認知機能評価の包括的検査バッテリーとその簡易普及版の開発
医学部	神経精神医学講座	博士研究員	日野 瑞城	若手研究 (B)	24791220	ドパミン系とグルタミン酸系との調節因子 DARPP のコントローラー-Pin1 の解析
医学部	神経精神医学講座	博士研究員	松本 純弥	若手研究 (B)	25861022	統合失調症における脳脂質代謝の視覚的網羅解析
医学部	麻酔科学講座	教 授	村川 雅洋	基盤研究 (C)	24592307	脳内アナンダミドが全身麻酔に及ぼす影響の検討
医学部	救急医療学講座	博士研究員	西川 光一	基盤研究 (C)	26462341	GABA 抑制系による脳可塑性の制御と麻酔薬：鎮静と毒性の分子基盤に関する新研究
医学部	臨床検査医学講座	教 授	志村 浩己	挑戦的萌芽研究	24651074	微細緑藻類による放射性物質除去法開発とその発がん抑制効果
医学部	感染制御医学講座	講 師	山本 夏男	基盤研究 (C)	25461518	オリゴ糖体投与による、Th2 関連応答を介した感染症の緩和／治療効果
医学部	輸血・移植免疫学講座	講 師	鈴木 裕子	基盤研究 (C)	25461455	健康人および血液疾患患者における免疫老化細胞 Tsen の検討
医学部	放射線健康管理学講座	教 授	大津留 晶	基盤研究 (C)	23590946	放射線腸炎に対する自家脂肪組織由来間葉系前駆細胞を用いた再生治療
医学部	放射線腫瘍学講座	教 授	鈴木 義行	基盤研究 (C)	24591833	放射線による抗腫瘍免疫誘導の解明と、その増強に関する基礎的・臨床的研究
医学部	人間科学講座 (人文社会科学)	講 師	中川 恵子 (末永恵子)	基盤研究 (C)	26370799	日本占領下の海南島における衛生・医療政策
医学部	自然科学講座 (化学)	教 授	志村 清仁	基盤研究 (C)	26410158	免疫抽出とキャピラリー等電点電気泳動のオンライン結合による翻訳後修飾パターン分析
医学部	自然科学講座 (生物学)	准教授	五十嵐城太郎	基盤研究 (C)	26340041	ヒ素化合物による細胞ストレス応答の分子機構：翻訳開始因子キナーゼのクロストーク
医学部	生体物質研究部門	教 授	本間 好	基盤研究 (C)	26460372	ミトコンドリア内チロシンキナーゼ c-Src 調節とその生物学的意義に関する研究
医学部	細胞科学研究部門	教 授	和田 郁夫	挑戦的萌芽研究	24650266	酸化的環境のための小さな時間分解蛍光イメージングプローブの開発
医学部	細胞科学研究部門	准教授	井上 直和	基盤研究 (B)	26291052	配偶子膜融合活性化メカニズムの解明
医学部	細胞科学研究部門	特別研究員	鈴木 貴久	特別研究員奨励費	25・11181	細胞外環境での小さな操作分子イメージングツールの開発
医学部	生体機能研究部門	教 授	小林 和人	新学術領域研究	25116519	前頭前野皮質回路の遺伝子操作による病態モデル解析
医学部	生体機能研究部門	教 授	小林 和人	新学術領域研究	26112001	行動適応を担う脳神経回路の機能シフト機構
医学部	生体機能研究部門	教 授	小林 和人	新学術領域研究	26112002	経路選択的な神経回路の操作・制御技術
医学部	生体機能研究部門	教 授	小林 和人	新学術領域研究	26120720	線条体コリン作動性介在ニューロンを介する行動柔軟性の制御機構

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	生体機能研究部門	教 授	小林 和人	基盤研究 (B)	23300119	新規神経回路操作技術による大脳皮質-基底核ネットワーク制御機構の解明
医学部	生体機能研究部門	教 授	小林 和人	挑戦的萌芽研究	25640037	昆虫フェロモン受容体を利用した新規神経回路活動操作技術の開発
医学部	生体機能研究部門	講 師	加藤 成樹	若手研究 (A)	25702053	記憶・学習を介する神経回路の機能制御と優れた学習モデル動物作出の試み
医学部	生体機能研究部門	助 教	伊原寛一郎	若手研究 (B)	25870581	新型イムノトキシンの開発と特定神経回路機能制御による霊長類高次脳機能の解明
医学部	生体機能研究部門	助 教	西澤 佳代	若手研究 (B)	25870583	弁別学習を制御する脳内メカニズム：背側線条体回路の役割
医学部	放射性同位元素研究施設	准教授	遠藤 雄一	基盤研究 (C)	25460596	認識分子フィコリンの恒常性維持に果たす新たな役割と分子基盤の解明
医学部	実験動物研究施設	准教授	関口 美穂	基盤研究 (C)	23592169	ラット髄核留置モデルにおける全身または局所ストレス負荷が及ぼす疼痛関連行動
医学部	腫瘍生体エレクトロニクス講座	特別研究員	下村 健寿	基盤研究 (C)	26461366	室傍核オキシトシンニューロンのKATPチャネルによる摂食調節の解明と治療応用
医学部	腫瘍生体エレクトロニクス講座	特別研究員	前島 裕子	基盤研究 (C)	24591341	満腹因子Nesfatin-1の食事・中枢時計による制御機構の解明と病態的役割
医学部	慢性腎臓病 (CKD) 病態治療学講座	准教授	旭 浩一	基盤研究 (C)	24591208	保存期慢性腎臓病の病態とリスク管理における慢性間歇的低酸素の意義の検討
医学部	地域救急医療支援講座	教 授	伊関 憲	基盤研究 (C)	24592729	中枢神経損傷後におけるニューロン・グリア相互作用の解明
医学部	多能性幹細胞研究講座	教 授	横内 裕二	基盤研究 (B)	22390034	肝組織発生に必要な胚性肝中皮細胞由来の血管発生制御因子群の機能解析
医学部	多能性幹細胞研究講座	准教授	中村 泉	挑戦的萌芽研究	24659619	大腸癌におけるmiRNA発現がマイクロサテライト不安定性により及ぼす影響
医学部	総合周産期母子医療センター	助 教	郷 勇人	若手研究 (B)	26860850	新生児慢性肺疾患の重症化に関わるマイクロRNAの同定と臨床応用への検討
看護学部	総合科学部門	教 授	中山 仁	基盤研究 (C)	24520548	英語の関係詞節の接続形式と発話解釈に関する意味的・語用論的研究
看護学部	生命科学部門	准教授	森 努	基盤研究 (C)	25461920	新たなネットワーク中心分子を標的とした効率的な癌治療法を開発するための基礎的研究
看護学部	基礎看護学部門	准教授	佐藤 美子	挑戦的萌芽研究	24659950	大震災及び福島県原発事故後の看護者の就業継続のための支援に関する研究
看護学部	基礎看護学部門	助 教	林 紋美	若手研究 (B)	25862153	2型糖尿病患者を抱える家族への看護実践力向上プログラムの開発
看護学部	療養支援看護学部門	教 授	真壁 玲子	基盤研究 (C)	26463344	がん看護実践者を対象としたエビデンスに基づくがん看護実践学習プログラムの開発
看護学部	療養支援看護学部門	教 授	坂本 祐子	基盤研究 (B)	25293465	足関節背屈角度を指標とした転倒ハイリスク者の識別と転倒予防プログラムの開発
看護学部	療養支援看護学部門	教 授	坂本 祐子	挑戦的萌芽研究	25670996	高齢者の精油芳香時の自律神経反応から検討する芳香法によるアロマセラピーの妥当性
看護学部	療養支援看護学部門	講 師	井上 水絵	若手研究 (B)	25862137	婦人科がん術後患者の回復期におけるフォローアップ相談の開発と効果検証の研究
看護学部	療養支援看護学部門	講 師	大崎 瑞恵	若手研究 (B)	26861958	退院支援における専門職連携実践の質評価尺度の開発
看護学部	地域・在宅看護学部門	教 授	高瀬 佳苗	基盤研究 (C)	23593384	中高年者の健康増進の運動行動に対する自己効力および結果期待の尺度開発
その他	放射線医学県民健康管理センター	助 手	堀越 直子	基盤研究 (C)	26510011	東日本大震災による福島県避難住民の居住形態における精神的な健康状態への影響
その他	医療人育成・支援センター	准教授	石川 和信	基盤研究 (C)	24590893	循環器疾患における高齢者サルコペニアの臨床的意義の解明
その他	医療人育成・支援センター	講 師	熊谷 敦史	基盤研究 (C)	26460772	福島原発事故後の住民の健康リスクに対する意識の変化と「よろず健康相談」の役割
その他	医療人育成・支援センター	助 教	小林 元	基盤研究 (C)	26460607	医学生生のpsychomotor skillは専門診療科選択に影響するか？
その他	医療人育成・支援センター	助 教	本谷 亮	若手研究 (B)	24730586	慢性疼痛の症状維持モデルに基づく認知行動療法の効果：主観的評価と脳機能の観点から
その他	医療人育成・支援センター	助 手	菅原亜紀子	若手研究 (B)	24790506	困難な医療面接「悪い知らせ」に要求される医師側のコンピテンシーについての研究
その他	医療人育成・支援センター	助 手	諸井 陽子	若手研究 (B)	26860348	インターネット・コミュニティで医療人が起こしうるモラルハザード問題を考える
その他	医療人育成・支援センター	助 手	吉田 浩二	若手研究 (B)	26861857	福島県内保健師に対する放射線教育へのアプローチ
その他	先端臨床研究センター	教 授	伊藤 浩	基盤研究 (C)	25461862	PETおよびMRIによる脳内神経伝達機能の相互作用の画像医学的解明

所 属	職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名	
その他	先端臨床研究センター	准教授	原 孝光	基盤研究 (C)	23591844	ヒト乳癌細胞の転移能と放射線感受性に関する研究
その他	先端臨床研究センター	准教授	富永 英之	基盤研究 (C)	26461895	高特異性ホウ素中性子捕捉療法薬剤の開発
その他	先端臨床研究センター	講 師	島雄 大介	基盤研究 (C)	24601011	透過型アナライザを用いた極小角X線散乱イメージングの開発
その他	会津医療センター	教 授	川勝 忍	基盤研究 (C)	26461732	嗜銀顆粒性認知症におけるアミロイドPET とアポリポ蛋白E 多型
その他	会津医療センター	教 授	小川 洋	基盤研究 (C)	26462586	上咽頭のマイクロバイオーム解析
その他	会津医療センター	教 授	塚本 和久	挑戦的萌芽研究	26670285	インスリン抵抗性及び炎症のバイオマーカーとしての非コレステロールステロールの検討
その他	会津医療センター	准教授	鈴木 朋子	基盤研究 (C)	23591159	PAR-2 制御によるIPF 急性増悪新規治療法の探究
その他	会津医療センター	准教授	鈴木 朋子	基盤研究 (C)	26461192	PAR-2 アンタゴニストはIPF 急性増悪新規治療薬になりうるか？
その他	会津医療センター	准教授	鈴木 雅雄	若手研究 (B)	26860483	慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の息切れ対策と治療法の開発
その他	会津医療センター	助 教	伊関 千書	若手研究 (B)	24790610	高齢者の健康と認知症をめぐる環境・社会要員研究：アジアとの比較より

## ■ 平成26年度 厚生労働科学研究費補助金採択状況（研究代表者）

所属	職	氏名	研究事業名	研究課題番号	研究課題名	
医学部	整形外科科学講座	教授	紺野 愼一	慢性の痛み対策研究事業	H23-痛み-一般-002	慢性疼痛の多面的評価システムの開発と客観的評価法の確立に対する研究
	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	教授	渡辺 毅	難治性疾患等克服研究事業（腎疾患対策研究事業）	H24-難治等(腎)-一般-006	特定健康診査による個人リスク評価に基づく、保健指導と連結した効果的な慢性腎臓病（CKD）地域医療連携システムの制度設計
	臓器再生外科学講座	教授	後藤 満一	がん臨床研究事業	H24-がん臨床-一般-002	精度の高い臓器がん登録による診療ガイドラインや専門医育成への活用に関する研究
	器官制御外科学講座	教授	竹之下 誠一	医療機器開発推進研究事業	H24-医療機器-指定-008	医工連携人材育成プログラムの研究
	耳鼻咽喉科学講座	教授	大森 孝一	医療機器開発推進研究事業	H24-被災地域-一般-001	気管・喉頭再生治療法の実用化推進研究
	臓器再生外科学講座	教授	後藤 満一	医療技術実用化総合研究事業（臨床研究・治験推進研究事業）	H24-被災地域-指定-012	重症低血糖発作を合併するインスリン依存性糖尿病に対する脳死および心停止ドナーからの膵臓移植
	小児腫瘍内科	教授	菊田 敦	医療技術実用化総合研究事業（臨床研究・治験推進研究事業）	H24-被災地域-一般-006	造血細胞移植における肝中心静脈閉塞症（VOD）に対する本邦未承認薬 defibrotide の国内導入のための研究：第I相および第II相試験（医師主導治験）
	疫学講座	教授	大平 哲也	循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	H25-循環器等(生習)-一般-008	笑い等のポジティブな心理介入が生活習慣病発症・重症化予防に及ぼす影響についての疫学研究

編集発行

公立大学法人福島県立医科大学

事務局企画財務課

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

TEL 024 (547) 1013 FAX 024 (547) 1991